

ス道路の早期着工はもとより、未整備道路の整備及びロードパークの設置を早期に行うよう、強く要請する。

(結果) 全会一致で可決

**MV22オスプレイ追加配備に対する抗議決議**

提出者 長浜 信夫

要旨

県内配備と同型のMV22オスプレイが訓練中に墜落炎上した事故は、オスプレイの安全性にますます疑念を抱かせ、県民の不安と恐怖を募らせるものである。沖縄県民の声を無視した日米両政府の行為を断じて容認することはできない。



米軍普天間基地で離着陸するMV22オスプレイ

昨年10月1日、日米両政府は、沖縄県民の反対を押し切ってMV22オスプレイを米軍普天間基地に強行配備した。沖縄県知事、県内全市町村長、全市町村議会が配備に反対し、さらに9月には、「オスプレイ配備反対沖縄県民大会」が開催され、全県挙げて配備中止を求めたにもかかわらず、日米両政府は配備を強行した。その後、日米両政府は追加配備予定のオスプレイ12機のうち、11機を8月17日までに強行配備したが、全て配備されれば24機ものオスプレイが沖縄に配備されることとなる。まさに、基地負担の軽減に逆行するものであり強い憤りを覚えるものである。

このような最中、去った8月27日、米ネバダ州で

よって、当市議会は県民の生命、安全及び生活を守る立場から日米両政府に対し、オスプレイの追加配備に強く抗議するとともに、全機配備撤回と即時撤去を求めらるものである。

(結果) 賛成多数で可決

**玉津博克教育長に対する不信任決議**

提出者 前津 究

要旨

去る9月19日の石垣市

議会一般質問中に、学校現場で行われている平和教育について、「思考停止」との玉津教育長の発言があった。この発言は、県紙でも大きく取り扱われ「語りべたちを冒とくするもの」と社説で厳しく指摘された。玉津教育長の今回の発言は、市民、県民、教育関係者及び戦争体験者の語りべの皆様に不信と不快を与えている。

玉津教育長の問題発言は、今にはじまったことではない。琉球大学教育学部との教育支援事業において、特定の人物の排除を求めたことに対し、「民主主義社会にあつてはならないこと」として、琉球大学教育学部長より抗議を受け、その真相解明と対応について教育委員会会の判断が待たれている最中であり、今回の玉津教育長の独断と偏見に基づく「思考停止」発言は、公正中立を堅持しなければならぬ立場を大きく逸脱するもので、その資質が問われている。

よって、ここに玉津博克教育長の不信任を決議する。

(結果) 賛成多数で可決

**平成二十五年**

**総務財政委員会**

**行政視察報告**

総務財政委員会（平良秀之委員長）では、去る八月六日から八月九日の日程で長野県松本市及び愛知県岡崎市を訪問し、行政視察を行いました。



総務財政委員会を代表し、あいさつする平良秀之委員長

標についてもそれぞれ「教育・文化の健康」のように健康が冠されております。その背景には、昭和四十年に脳卒中による死亡率が全国ワーストとなったことから、県民に危機感が広がり全県的な取り組みで健康づくりが進められてきた経緯があるとのこと、健康長寿が揺らぐ沖縄県の長寿復権のためには今後長期に渡る取組が必要と感じました。

松本市においては、「健康長寿延伸都市・松本」に関する取り組みについて説明を受けました。同市では、総合計画における目指すべき将来の都市像をズバリ「健康長寿延伸都市・松本」として掲げており、その実現のため健康を核として、経済、産業、環境、教育、都市基盤などの各分野と連携した取り組みを進めるためまちづくりの六つの基本目

岡崎市においては、都市交流に関する取り組みについて説明を受けました。岡崎市の奥殿小学校と石垣市の大浜小学校等が姉妹校となり、児童たちの交流を契機として、石垣市と親善都市を締結しているように、他の七市一町ともそれぞれの縁があつて都市交流を行っているとのこと、新たな交流形態として、二市一町と「災害時相互応援協定」を平成二十五年に締結したとのことでした。都市交流については、参加層の固定化等の課題が指摘されていることから、災害時応援協定のような効果的な取り組みについては本市の施策に参考となるものでした。